

「1日1日を大切に」

◇今年の2月はいつまでも寒く、運動場が霜で真っ白だったり、運動場一面に雪が積もっていたり、水たまりの水が凍っていたり、日中の気温が10度に届かない日もたくさんありました。でも、プールの近くの梅が満開になっていたり、日暮れがだんだんと遅くなってきていて、季節は着実に春に向かって進んでいます。冬から春へのこの季節は、うれしくもあり寂しくもある季節。今年度も残すところあと1ヶ月となりました。3月に学校に来る日は、明日から数えて6年生で13日、1～5年生で15日です。今のクラスで過ごせる日もあとわずか。1日1日を大切に過ごしていきたいですね。



◇全国一斉休校がスタートしたのが、令和2年3月1日。2月28日の「ありがとう集会」の中で犬塚前校長より休校のお知らせが伝えられました。あれからちょうど2年が経ちます。今年度も、夏休み後半と、お正月明けと大きな感染の波が押し寄せました。遠足や育友会の夏祭り、「なぞとき集会」など、昨年度よりできたこともあります。実施できなかったこと、制限されたことなどもたくさんあります。子供たちはそんな中でも本当によくがんばっています。休み時間に、外で元気に遊んでいる姿やしっかり授業を受けている姿を見ると、本当にうれしくなります。

◇3月3日といえば「ひなまつり」ですが、もともと3月3日は、五節句の二番目「上巳(じょうし)の節句」でした。中国にはこの日、水辺で体を清め宴会を催し厄災を祓う(はらう)という風習があったそうです。日本では上巳の節句に、人の形を草木や紙で作し、それに息を吹きかけたり、体をなでたりして自分の厄を移し、水に流して祓うという風習になりました。女の子だけではなく老若男女すべての人のための風習だそうです(この人形がひな人形に発展したということです)。また、上巳の節句は「桃の節句」とも呼ばれます。これは、ちょうど旧暦の上巳の頃に咲く桃には、邪気を祓う力があるとされ、好んで飾られていたからだそうです。

◇どんな時代でも、どんな場所でも、人々の願いは変わらないのだと感じます。私たち教職員も保護者の皆様も、子供たちの健やかな成長が一番の願いです。これから先もいろいろな困難が起こるかもしれませんが、どんなときにもしっかりと考え行動し生きていく力を身につけていけるよう、学校も全力で取り組みます。令和3年度もあと少しですが、よろしく願いいたします。



菜の花が しあはせさうに 黄色して (細見綾子)

< 学校長 >